

## はじめに

大正9年、旧東山区今熊野に京都市衛生試験所として開設以降、昭和45年には現在地への新築移転、昭和61年には京都市中央卸売市場第一市場（農水産物流通）及び第二市場（食肉流通・と畜場併設）内に第一検査室及び第二検査室の設置、平成2年には公害対策室審査課の統合と、90年間にわたる歴史の中で、当所はその時代時代にあわせて対応し、変遷を遂げてきました。

本年4月には、より効率的に業務を推進すべく、組織を平成2年来の1課7部門制から1課5部門制に再編成し、これに伴い、名称も、長らく親しまれてきた「京都市衛生公害研究所」から「京都市衛生環境研究所」へと改称したところです。

平成21年度、私たちは新型インフルエンザの発生に対し、全職員が一丸となり、部門の枠を越えた検査実施体制を組んで、これに臨みました。

また、メール配信やホームページを駆使し、感染症をはじめとする様々な公衆衛生に係る情報発信拠点としての機能強化にも取り組みました。

今後、さらなる対象業務の拡大、技術の高度化、情報処理の迅速化などが予想されますが、私たちは新たな体制をもって、どのような情勢にも、柔軟に、すばやく、また存分に対応していきたいと考えています。

また、蓄積された専門知識や技術を市民に還元できるような事業に積極的に取り組み、地域に根差した地方研究所としての役割を果たしていく所存です。

新たなスタートをきりました京都市衛生環境研究所に、今後とも変わらぬ御高配を賜りますと共に、「京都市衛生公害研究所年報」としては最後となります本誌・第76号を御高覧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成22年10月

京都市衛生環境研究所長

石川和弘